

事業実施報告書

法人名 特定非営利活動法人 空き家対策協会

事業名	空き家問題を解決に導く大相談会の実施事業
助成事業の種類	SDGs 推進事業（豊かさ）
1. 事業の目的	<p>○現在空き家となっている建物やその土地の流通促進</p> <p>○将来空き家となる恐れのある建物の管理不全空き家化の予防</p> <p>これにより、★管理不全空き家の倒壊や一部破損による危険</p> <p>★草木の繁茂に伴う害虫、害獣</p> <p>★不審火や犯罪の温床となること</p> <p>を未然に防止して、安心安全、豊かで活気あるまちづくりに寄与する。</p>
2. 事業で取り組んだ地域や社会の課題	<p>高度経済成長期のニュータウン構想時代に活躍し、マイホームブームによって家を購入した団塊の世代が70～80歳となり、一人暮らしとなる方も増え、住んでいる家も高齢化しております。埼玉県は今後5年間の高齢化進展率が全国屈指と言われており、空き家数も急激に増える可能性があります。</p> <p>しかしながら県民の間では、①誰に相談して良いかわからない②うかつに相談して悪い業者に都合の良いようにされたくないといった声が根強く、相談してもすぐに行動にうつさない傾向があります。</p> <p>現在空き家の流通促進と将来空き家の管理不全予防は重要な課題であり、将来空き家への対策としては、相続手続きの円滑化が必要であることから、これらに対応する方法として以下のような事業に取り組みました。</p>
3. 取り組んだ事業の具体的な内容・実施結果	<p>実施した事業・・・「相続、空き家の大相談会」</p> <p>①趣 旨 上記課題に対応する事業を実施し、目的達成の一助とする。</p> <p>②実施時期 令和6年1月21日（日）</p> <p>③対 象 者 県民および埼玉県内に空き家所有する方</p> <p>④場 所 北本市文化センター</p> <p>⑤来場者数 約90名（アンケート協力者数34名）</p> <p>⑥外部の協力者・団体</p> <p>後援・・・北本市、桶川市、鴻巣市、上尾市、伊奈町の空き家担当課</p> <p>相談対応・・・行政書士会、宅建協会、建設埼玉、その他地域で活躍する士業者、不動産会社等</p> <p>⑦ミニセミナー 6本 内容は別添チラシ記載のとおり</p> <p>⑧個別相談ブース 13ブース</p> <p>⑨総相談件数 50件</p>

	<p>⑩アンケート結果（上位3件の紹介）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 本日はどのような相談をされましたか？ <ul style="list-style-type: none"> ・相続手続き全般 16名 ・遺言について 9名 ・空き家の売却 6名 2. セミナーは聞きましたか？ <ul style="list-style-type: none"> ・3つ以上聞いた 12名 ・1つ聞いた 8名 ・2つ聞いた 7名 3. 本日のイベントを何で知りましたか？ <ul style="list-style-type: none"> ・市町村の広報 15名 ・新聞チラシ 8名 回覧チラシ 7名 4. 本日のイベントは役に立ちましたか？ <ul style="list-style-type: none"> ・とても役に立った 29名 ・まあ役に立った 6名 他0名 <p>⑪アンケートコメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各ブースが用意されており個別相談が出来て良かったです。 ・セミナーも分かりやすく、具体的で参考になりました。 ・他県の空き家なのに親切に教えてくださいありがとうございました。 ・プロに相談して不安感が軽くなりました。 ・自分の方針を整理しなければと思いました。 ・またこのような会を開いていただければ助かります。 ・とても役立ちました。 ・次の機会を期待しています。 ・専門の方と話ができてモヤモヤしていたものの方向性が認識できました。 ・またこのような会が開催されますことを市民としてお願い申し上げます。 ・いろいろと参考になった。また相談させてもらいます。
<p>4. 事業実施により達成した成果の具体的な内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・悪天候であったため仕方ないとの見方もあるが、目標としていた集客人数には及ばなかったのが残念であり、反省点である。しかし、北本市を中心に、周辺の市町村を巻き込んだ活動ができたのは大きな成果であったと言える。 ・相談件数が50件ということで、通常の個別相談会では考えられないほどの相談件数となり大きな成果となった（通常の個別相談会では、4～12件程度）。
<p>5. 費用面での工夫</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会の回覧板を利用することで大幅なコスト削減ができた。 ・実施会場を市の後援を得て市の施設を利用することでコスト削減に大きく寄与した。
<p>6. 地域社会への還元について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・このようなイベントは、人口の多い市町村での実施に偏りがちであるが、周辺市町村を巻き込む形で実施することにより、県内各地で実施しうることが確認できた。今後はこういった方法も視野に入れて、人口の少ないエリアでのイベント実施も企画していきたい。
<p>7. 来年度以降どう事業を継続し発展させていくか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今回は県央地域での実施でしたが、今後は他の地域にも波及させていけたらと考えております。そのためには、当該各市町村の協力が不可欠であり、後援や回覧板などご協力いただける市町村を探して実施していきたい。

事業収支計算書

法人名 特定非営利活動法人空き家対策協会

1 収入の部

項目	予算額 (円) A	決算額 (円) B	増減額 (円) B-A	備考
県助成希望額	369,000	369,000	0	
自己資金	41,495	41,495	0	法人一般会計より
事業実施による収入等	0	0	0	
その他			0	
合 計	410,495	410,495	0	

2 支出の部

項目	予算額 (円) A	決算額 (円) B	増減額 (円) B-A	備考
会場費	16,000	16,000	0	北本市文化センター 16,000円
通信運搬費	0	0	0	
旅費交通費	0	0	0	
消耗品費		0	0	
備品費		0	0	
委託費	262,323	262,323	0	回覧用チラシ印刷代 2.2円 × 4000枚=8,800円 一般用チラシ印刷代 2,3612円×2500枚=5,903円 新聞折込チラシ(桶川)印刷 配布代 6,17915円×20,000 枚=123,583円 新聞折込チラシ(鴻巣)印刷 配布代 6,171円×20,100枚 =124,037円
謝金	50,572	50,572	0	講演料 1時間11,021円×2 人=22,042円 講演料 30分5,510円×3人 =16,530円 相談対応料(弁護士) 2,400円×5時間×1人 =12,000円
人件費	81,600	81,600	0	当日担当者人件費(会員 外・無給会員) 会場準備受付整理担当者 1,200円×8時間×7名= 67,200円 会場準備片付け担当者 1,200円×2時間×6名= 14,400円
その他		0	0	
合 計	410,495	410,495	0	